

宮崎駿

出發點

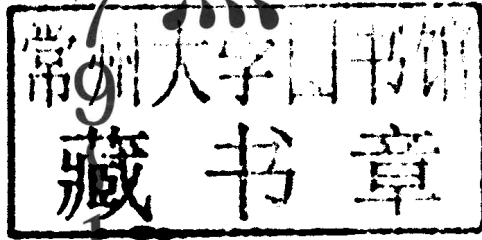
1979~1996



57

出发点

[197
1996]



宮崎
駿

徳間書店

出発点 [1979-1996]

一九九六年 七月三十一日 初版
二〇〇一年 七月一日 二〇版

著 者 宮崎駿

©MIYAZAKI HAYAO

発行人 鈴木敏夫

編集・発行 株式会社スタジオジブリ

〒一八四—〇〇〇二 東京都小金井市梶野町一—四—二五

電話〇四二—五三—二〇七三

編集担当 田居 因

装帧 真野 薫 (CNT508)

発 売 株式会社徳間書店

〒一〇五—八〇五五 東京都港区芝大門二—二—一

電話〇四八—四五—五九六〇 (販売)

振替〇〇一四〇—〇—四四三九二

図書印刷株式会社

大口製本印刷株式会社

各章扉のイラストは月刊「ホビージャパン」(ホビージャパン発行)の安東亜音人氏の連載「キット総点検シリーズ」の一九七一年七月号から一〇月号につけられた宮崎監督のカットです。

編集／吉野ちづる

資料協力／高畑・宮崎作品研究所

(代表／叶精二)

無断で本書の内容を転載、複製することを禁じます。
落丁、乱丁が万一ございましたら株式会社徳間書店宛にお送りください。
送料弊社負担でお取替えいたします。

©Studio Ghibli, 1996 Printed in Japan.

ISBN978-4-19-860541-4

出発点

[1979～1996]

目次

前書きにかえて

くにのゆくえ 「対談」筑紫哲也……………12

〈アニメーションを作るとうつらい〉

- 失われた世界への郷愁……………42
- 発想からフィルムまで①……………52
- 発想からフィルムまで②……………59
- 続・発想からフィルムまで①……………65
- 続・発想からフィルムまで②……………71
- 自分の原点……………77
- 洪水にバケツで水を加える行為……………86
- 私にとってのシナリオ……………91
- 日本のアニメーションについて……………100
- いい映画を作れる現場を維持していきたい、それだけなんです……………115
- 働く人間が使いやすいスタジオにしたい……………124
- アニメの世界とシナリオ……………128

〈つばねの周辺〉

- フライシャーに思う……………144
- ファンタステック・プラネットに思う……………148
- アニメーションと漫画映画……………150
- 「街」「プレゼント」を観て……………158
- 時代劇の話……………161
- しごこの周辺……………164
- 連帯の挨拶……………170
- 「木を植えた男」を見て……………171
- ただ右往左往するだけの国……………176
- こんな映画を作りたい……………177
- 時には昔の話を……………188
- 私の好きな東京……………189
- ワンシヨットの力……………189
- マンガ盛行論……………192
- 一本の樹に生きるものたち……………193
- 腐海のほとりで……………196

人

- お得意様に感謝するCMがあってもいい……………205

- ある仕上げ検査の女性……………212
- “中傷”絵画……………226
- 手塚治虫に「神の手」をみた時、ぼくは彼と訣別した……………231
- 二木さんのこと……………236
- 私と先生……………239
- 大ナマケモノの子孫……………241
- 女房任せだった子育て……………243
- 短い言葉……………245
- 時代の風音……………247
- おやじの背中……………249
- 司馬遼太郎さんを悼む……………251
- 司馬遼太郎さんのこと……………252

〈本〉

- 日本人がいちばん幸せだったのは縄文時代……………260
- Making of an animation — 『G・G…』……………262
- 呪縛からの解放——『栽培植物と農耕の起源』……………265
- BOOKS……………268
- 吉田聡はドン・キホーテである……………273
- 『コクリコ坂から』（高橋千鶴・作）／ぼくの少女マンガ体験……………275
- 飛行機乗りとしてのダール……………286
- 堀田さんの声が聞こえる……………289
- 僕の宿題……………294
- 『ラプンツェル異聞』はイイ……………295
- 〔カラー読物〕空中でお食事……………297

〈好きなこと〉

- ぼくのスクラップ 1〜3……………306

〔対談〕

- シトロエン 2CV は 30 年代フランス機の末裔なのである!! 309
- こんな庭がほしい 310
- マイ・カー 312
- 私にとつての武居三省堂 313
- 「雑想ノートは、僕の道楽なんです」 318
- “動機づけ” と “思い入れ” / 押井守 324
- “風の谷” の未来を語ろう
- 火を捨てる? 「ナウシカ」と冷蔵庫のある「エコトピア」 / E・カレンバック 334
- 「宮崎さんの手で、映画にしてほしい話があるんです」 / 夢枕獯 343
- 密室からの脱出 / 村上龍 353
- 読者とか観客をちゃんとやれる人って少ないですよ、いま / 糸井重里 365
- トトロの森での立ち話 / 司馬遼太郎 379

〈企画書・演出覚書〉

- 著作権取得の提案……………390
- 原作を知らない人でも楽しめる映画を……………393
- 「天空の城ラピュタ」企画原案……………394
- 企画書「となりのトトロ」……………397
- 「となりのトトロ」演出覚書——登場人物について……………403
- KIKI 今日少女たちの願いと心……………407
- 自分たちの出発点を探して 大東京物語企画書……………409
- 「墨攻」メモ アニメーション映画として……………410
- 紅の豚メモ——演出覚書……………413
- なぜ、いま少女マンガか？……………415
- 「もののけ姫」企画書……………419

〈作品〉

- ルパンはまさしく、時代の子だった……………424
- ナウシカのこと……………429

- 「コナン」を語る……………432
- 宮崎駿自作を語る……………452
- 「豊かな自然、同時に凶暴な自然なんです」……………472
- 個人的には「ナウシカ」からの連続性があるんです……………477
- トトロは懐かしさから作った作品じゃないんです……………485
- この作品では、一人の人間のいろいろな顔を見せたかった……………511
- 「紅の豚」公開直前インタビュー……………517
- 「風の谷のナウシカ」完結の、いま……………521
- やりかけの仕事としてのパンダ……………535
- 「パンダコパンダ」作者のことば……………536
- 頭の中ではもう絵は動いている……………538
- メタファーとしての地球環境……………542
- 「On Your Mark」——歌詞をわざと曲解して作りました……………558

年譜……………563

エロスの火花／高畑勲……………571

出発点

[1979～1996]

宮崎
駿

徳間書店

出発点

[1979～1996]

目次

前書きにかえて

くにのゆくえ 「対談」筑紫哲也……………12

〈アニメーションを作るとうつらい〉

- 失われた世界への郷愁……………42
- 発想からフィルムまで①……………52
- 発想からフィルムまで②……………59
- 続・発想からフィルムまで①……………65
- 続・発想からフィルムまで②……………71
- 自分の原点……………77
- 洪水にバケツで水を加える行為……………86
- 私にとってのシナリオ……………91
- 日本のアニメーションについて……………100
- いい映画を作れる現場を維持していきたい、それだけなんです……………115
- 働く人間が使いやすいスタジオにしたい……………124
- アニメの世界とシナリオ……………128

〈つばねの周辺〉

- フライシャーに思う……………144
- ファンタステック・プラネットに思う……………148
- アニメーションと漫画映画……………150
- 「街」「プレゼント」を観て……………158
- 時代劇の話……………161
- しごこの周辺……………164
- 連帯の挨拶……………170
- 「木を植えた男」を見て……………171
- ただ右往左往するだけの国……………176
- こんな映画を作りたい……………177
- 時には昔の話を……………188
- 私の好きな東京……………189
- ワンシヨットの力……………189
- マンガ盛行論……………192
- 一本の樹に生きるものたち……………193
- 腐海のほとりで……………196

人

- お得意様に感謝するCMがあってもいい……………205

- ある仕上げ検査の女性……………212
- “中傷”絵画……………226
- 手塚治虫に「神の手」をみた時、ぼくは彼と訣別した……………231
- 二木さんのこと……………236
- 私と先生……………239
- 大ナマケモノの子孫……………241
- 女房任せだった子育て……………243
- 短い言葉……………245
- 時代の風音……………247
- おやじの背中……………249
- 司馬遼太郎さんを悼む……………251
- 司馬遼太郎さんのこと……………252